

## \*事業者向け\* 令和7年度 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：放課後等デイサービスlulu

実施年月日：令和7年7~8月

対象：全スタッフ（11名） 公表日：令和7年9月10日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	3	1	平日は日中利用と放課後利用に分けて分散されるが、長期休みは一同が同じ利用時間になるため多く感じる。夏休み等で子供達が多い時は、外出できる子供に関しては外出できるようにしている。今年度は定員1名追加した（6名）。基準の広さは確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	10	1		基準以上の配置をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	11			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10	1		ミーティング等で共有している。月に1回の職員会議をし、日常的に業務の振り返りをしている。
	5	保護者向け評価表を活用して、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11			頂いた意見はスタッフミーティングで共有して改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11			年に1度、法人ホームページで公開し、通信紙で公開の旨をお知らせしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	3	2	義務化されていないため外部評価を受けていない。
	8	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	11			内部研修や外部研修の参加を促し、頻回に行っている。必要な研修については、管理者から受講するよう推薦している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	10	1		本人や保護者からの聞き取りで個別支援計画を作成している。内部研修も定期的に企画している。
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	2		日にちの確認ではマグネット、または日めくりカレンダー。児によっては絵カード使用。
	11	活動プログラムの立案を多職種で行っているか	9	2		職種問わず活動内容を提案できる環境。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	2		季節に合わせたイベントや制作・遊びなど工夫している。季節を感じられる行事活動を実施。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を設定して支援しているか	9	2		学校平日、土曜日、夏休みなど、それぞれ違うプログラムを立案している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	10	1		個別活動以外にもお友達やスタッフとの交流や人との関わりについても盛り込んでいる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	3		ケアのスケジュール担当者を可視化している。ホワイトボードを活用し、それぞれスタッフが、自分の担当業務を確認できる。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	3		その日のうちに気になった点を共有している。送迎後の時間に必要な事項の確認をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11			活動の内容・様子以外にも、身体拘束に関する記録を徹底している（特に車いすに乗りベルトを止めるときなど）。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	11			誕生日にモニタリング・計画更新、半年後にモニタリング。児発管・OJT児発管を中心に実施。
	19	ガイドラインの総則の基本活動*1を複数組み合わせて支援を行っているか	10	1		ガイドラインについては全スタッフ内容を共有していなかった（課題）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	10	1		積極的に参加している。 児発管・Ns・担当指導員が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9	2		一部学校では情報が閉鎖的なので、保護者からの情報で把握している。 保護者を通じて、学校行事の把握をしている。必要であれば担任や、進路担当と情報共有している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	11			利用開始時やケア内容に変更があった時は主治医と情報共有をしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	3		児童発達支援事業所に出向いて情報をもらい、スムーズに放課後等デイサービスにうつれるよう工夫している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	11			生活介護事業所等から申し出があったら情報提供に協力したい。
	25	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	3		立川市内ではR7・5月よりはぐくるりんが開所。これから密に連携をとっていきたい。 R7～支援センターができ、見学や交流の機会をもちたい。
	26	児童館や自治会館、その他の障害の有無のかわらずいろいろな人との交流や活動の機会があるか	10	1		今年は自治会に加入。自治会館の利用もしていく。 自治会に加入し、会館での活動や回観板桃に参加している。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	10	1		児童部会・運営委員会へ参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11			送迎時に伝えたり、LINE等で保護者と連絡を取り合い共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	5	1	ニーズがあれば対応するが、今のところ行っていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11			契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	1		
	32	親子参加のイベントや保護者会等の開催により、保護者同士の連携を支援しているか	11			10月にパン教室、7月に茶話会を開催した。今後も年に数回、イベント等で保護者同士の交流の場を設けていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11			苦情は今のところなく、相談があれば個別で対応していきたいと思う。
	34	定期的に会報やホームページ等で、活動内容や行事、お知らせ等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11			通信紙、インスタグラムで活動を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	11			写真等で名前が映らないようにしたり、外に情報が漏れないようにするなど、取り扱いには注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11			子どもからのYES・NOのサインを必ず確認したり、実行する前に「○○するね」と声をかけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	2		自治会に加入。情報発信している。 子どもたちの作ったバスボムを見学者や地域住民にプレゼントしている。自治会のイベントにも参加していきたい。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	2		活動室の入り口に掲示している。 活動室にファイルを保存。誰でも閲覧できるようになっている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1	1	避難訓練はできていないが、災害時グッズの点検は定期的に実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11			既定の通りに委員会や研修を開催している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	11			車いす移乗時のベルト装着や手の保護用ミトンなどは保護者の同意の上、個別支援計画に記載し、実施している。その際、時間や目的の記載を十分に行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11			医療的ケアや日中の注意事項などが書かれた指示書を、利用開始時に提出してもらっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11			インシデント・アクシデント・ヒヤリハットは適宜作成し、事業所内で回覧、ミーティングでの共有と再発防止に努めている。

\*1 放課後等デイサービスにおける4つの基本活動とは、(ア)日常生活の充実と自立支援のための活動(イ)多様な遊びや体験活動(ウ)地域交流の場(エ)子どもが主体的に参画できる活動